



Suigarayama_OozaEngland (南川優子 Yuko Minamikawa)

2004-12-26

クリスマスの朝



今日はクリスマスだ。ここ3、4日風邪気味だった夫もようやく咳がおさまり、クリスマスランチをつくるまえに街をぶらぶら歩いた。街はいつになく静か。夫曰く「昔は日曜日もこんなふうだった」そう。かつて日曜日は休むための日だったのである。それが最近ではあくせく買い物したり用事を済ますための日に。実際、近所のスーパーマーケットは日曜日でも混雑している。わたしにとっては、「あくせく」しているほうが生きている心持ちがするのだけれど、イギリス人はそうではないらしい。

写真の教会は、我が街ロイストンでいちばん大きな教会で、今朝通りがかったときには聖歌が聞こえてきた。

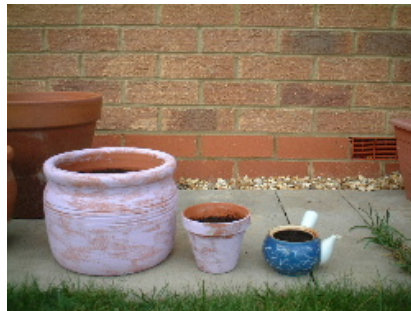
クリスマスと言えば、こちらでは聖なる日のイメージよりも、ふだん密接でない家族・親類が休暇のせいで集合することによって生じるいざこざ(?)を元に、辛辣なことを書く詩人がいたりする。毎週のように聴いているBBC4の [Poetry Please!](#) という番組で朗読された詩のなかでも、そんな作品があった。ポール・ダーカンというアイルランド詩人の *Wife who Smashed Television gets Jail* という詩なのだが。身につまされる。

...と入力して気がついたのだけれど、もう日本は26日だったのね。

05:45:06 - yuko - No comments

2004-12-10

鉢と春菊



結局植木鉢はこんなふう塗って見ましたが、写真で見ると白っぽく見えます。肉眼で見るともっとピンクっぽいです。時期が遅くなってしまいましたが、クロッカスの球根を植えてみました。右端の青い小さな鉢は、きゅうすです。ひびが入って

Navigation

[Previous 月](#)
[Next 月](#)
[Today](#)
[Archives](#)
[Admin Area](#)

Categories

[All](#)
[General](#)

灰皿町の本

• [幻想小説『なめくじキーホルダー』清水鱈造](#)

• [「週刊読書人」詩時評 一九九二-一九九三年 清水鱈造批評集 第二分冊](#)

Search

しまったので、鉢に変えてみました。春菊の種は、ようやく芽を出しました。これも蒔くのが遅かったので（本当は10月頃がいいんだと思うけれど、帰国していたので...）、ちゃんと育つかちょっと不安です。

我が家もようやくブロードバンドに移行しました。けれど、設置したその日、見知らぬソフトウェアが勝手にふたつもインストールされていて、アンインストールするのがたいへんでした。同じような目に合った人たちの情報をサーチエンジンで検索して、そこに書かれていた情報に従って（すべてアメリカのサイトでした）削除していったのです。

20:41:06 - yuko - 3 comments

Login

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

Powered by

